

公益社団法人松阪青年会議所

2019年度 所信

副理事長 谷本 雄一郎

《所信》

いつの時代も、真の成功と幸福を得るために最も大切なことは「志」を持つことです。志とは字のごとくところが土台にあり、いかなる状況や困難が立ちはだかる場合においても乗り越える為に必要不可欠なものです。そして、我々の組織には志を同じうする同志がいます。同じ志を持った若者たちが生み出す英知と勇気と情熱は社会を動かす原動力となっているのです。

そんな組織を一つの方向に向かわず時に重要な「ひと」すなわち個性を認め相手をおもうところなのです。おもいやりやお互い様という文化は日本人が大切にしてきた人間本来の理を表します。組織の為にひとを動かす、そこに属すひとがその組織の理念や方向性を知らず、やみくもに組織の為に動いているだけの組織は活力を失い衰退していきます。ひとが組織を動かし、そこに属すひとがやりがいを持ち自己成長を遂げる環境が整った企業や組織は発展、成長し社会に必要とされ続け継続していきます。

本年、松阪青年会議所は創立65周年を迎えることが出来ました。1954年6月、39名から始まったこのまちでの青年会議所運動は幾多の困難を乗り越えこのまちと共に歩んできました。本年度は、周年という5年に一度の機会を通して偉大な先人たちが残してくれた功績に敬意と感謝のこころを持って、その歴史の重みを担いと捉え運動していく気概を高める絶好のチャンスであります。我々、J A Y C E Eの責任は、人財が成長できる組織の基盤を整備し、そこに属す多種多様な人々が互いに尊重し合い成長し続ける機会を個性に合わせ与え続ける事にあります。そんな持続的に向上心のあるひとびとからなる組織やまちは、魅力に富み繁栄し続けることが出来るのです。おもいやりのこころが溢れる松阪青年会議所を若い我らが手を取り合い創っていこうではありませんか。